

嘉手納基地における米軍のパラシュート降下訓練に対する抗議決議

5月30日午前7時30分から、米空軍嘉手納基地内で在沖米陸軍第一特殊作戦部隊（グリーンベレー）により、MC130輸送機2機を使用して延べ12回、159人の兵士がパラシュートで滑走路周辺に降下訓練を行った。同訓練は「即応体制を維持するため、嘉手納基地で訓練を行なう必要性がでてきたため実施される」と基地報道部は通報している。

このことは、嘉手納基地が読谷飛行場で行われていたパラシュート降下訓練場の代替地となる恐れがあり、ただでさえ過密な嘉手納基地の機能強化につながるものである。

かつて、読谷村ではパラシュート降下訓練により悲惨な人身事故も発生しており、今後も同様な訓練を嘉手納基地で実施するならば、住民を巻き込んだ事故が発生する恐れもあり、町民に大きな不安と衝撃を与えるものである。このような降下訓練は断じて容認できるものではない。

また、パラシュート降下訓練で町民地域上空を無差別にMC130輸送機やヘリコプターなど米軍機が旋回することになり、爆音被害はますます激しくなることは必至である。北谷町民は、これまでも爆音をはじめとする各種基地被害をもろに受け、生活環境は破壊され、日常生活は混乱をきたしている。もうこれ以上の基地被害の増大は許されるものではなく、我慢も限界である。

よって本町議会は、パラシュート降下訓練に強く抗議するとともに、基地機能の強化に断固反対する。

1998年6月2日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 嘉手納基地第18航空団司令官

在沖米国総領事 第10地域支援群司令官 沖縄県議会議長

内閣総理大臣 外務大臣 防衛庁長官 防衛施設庁長官 外務省沖縄大使 沖縄県知事

那覇防衛施設局長